

シー・エス
C・S みやいけ

E-mail:info@miyaike-e.ed.jp



スイカ割り(協和公民館)

夏休み - 地域の人に囲まれて -



サマーフェスティバル(こうせい公園)



ラジオ体操(白山公園)



流しぞうめん(協和公民館)

長いと思っていた夏休みも、早、折り返しの時期になります。

猛暑続きの毎日ですが、子どもたちは、この写真のように地域の皆様に温かく見守られ、地域のあちらこちらで元気いっぱい夏休みを楽しんでいるようです。

先日、教育委員会の方から、他校の学校運営協議会の取組についてお話を聞かせていただきました。多くの小学校で、保護者や地域の方々をはじめ、中学生や高校生、大学生なども加わって、有意義な夏休みを送るための「夏休み出前講座」や「サマースクール」、「水泳教室」、親子で避難所体験をする「防災キャンプ」など、など…学校と家庭と地域のパートナーシップのもとで、それぞれ特色のある活動が展開されているとのことでした。

家庭と地域と学校のつながり、年齢や世代を超えたつながりの中で、地域に愛着を持ち、元気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱいの子どもたちが育っていくんだなと感じました。まさに、コミュニティ・スクールがめざす「地域全体が教室」、「地域の方々が生徒」、そんな思いを強くする夏休みです。この一夏の経験で、どの子も一回りも二回りも大きく成長してくれることでしょう。

「C・Sサロン」勉強会

7月23日(火)、宮池小学校において「学校や社会になじめない子どもや大人との接し方」をテーマに学習しました。講師は、宮池小学校運営協議会の一員でもある半田市社会福祉協議会事務局次長の前山憲一さんです。

概略は、以下のとおりです。

半田市の人口は、30年後にはおよそ8万人と推計されている。少子高齢化や支援者不足が更に進むだろう。様々な困りごとがあっても、誰に相談したら

いいのかわからないという状況も考えられる。

本日のような機会を通じて、地域住民が地域の困りごとにどう関わっていけばよいのか考えていくことが必要である。

－ 参加者からの質問・意見 －

○ 社協の人材育成は？

- ・ 仕事を通してトレーニングする。ケースごとの研修会などにより対応力が付いていく。
- ・ 問題によっては身の危険を感じることもある。どこまで対応するか難しい。どこで押して、どこで引くか、トレーニングが必要。接し方に不安を感じたら社協につなぐ。

○ 社協は全国に設置されている組織か？

- ・ 法律で義務付けられているが、設置されていない所もあり、活動も地域差がある。

○ 福祉に関する世界の様子？

- ・ (ある逸話から・・・「北欧は石畳の道路が多い。『障がい者にとって不便ではないか』と聞いたら、『困っている人がいたらみんなで助ければよい。道路整備の予算があるなら、もっと必要な所に使いたい』と・・・。」障がい者理解の文化の違いを感じる。)

○ 子どもとの接し方（小学生の頃はつながりを持ちやすいが、中学生になると勉強や部活動などでつながりが持ちづらくなる。普段の生活で子どもにどう接したらよいか。）

- ・ 今の生活を大切に、無理をさせないことが大切。SNSなどで何となくつながるくらいで充分。
- ・ 子どもたちの就学環境を整えることを大切にしている。不登校児童への関わりについても対応させていただきたい。



特集：コミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)導入への道のり！

コミュニティ・スクールに対する理解を深められるよう、これまでの歩みとこれからの展望について、このコーナーで紹介していきます。

＜第2号＞ 学校運営協議会・学校支援地域本部・学校評議員・PTA

学校運営協議会は、法律に基づく合議制の機関で、学校運営の基本方針などを話し合う制度です。学校は、そこで承認された方針に従って学校運営をします。

半田市は、平成30年度まで「学校運営協議会」に近い「学校運営(支援)協議会」を設置していました。「支援」という言葉を入れているのは、「学校運営協議会」の役割である「学校運営への提言」と、「学校支援地域本部」の役割である「学校運営への支援」の両面を併せ持つ制度とするためです。

学校支援地域本部は、学習サポートや安全見守り、環境整備など、学校の教育活動や教育環境に対する支援をする制度です。

学校評議員は、校長の求めに応じて、個人の立場で学校運営に関する意見を述べる制度で、学校運営に直接関与する権限はありません。

半田市は、平成27年度末をもって全小中学校が「学校評議員」から「学校運営（支援）協議会」に移行しました。

PTAは、学校・家庭における教育の理解と振興、児童・生徒の学校外の生活指導など社会教育活動を目的とする社会教育団体です。学校の教育活動に協力し、学校・家庭・地域をつなぐという点で、学校運営協議会と同じ役割を担います。PTA役員が学校運営協議会に参画し、学校運営にPTAの意向を反映するとともに、学校運営協議会と互いに補完し合いながら、学校、家庭、地域の連携をより一層密にすることが期待されています。

[＜次号へ続く＞](#)

ホームページをご覧ください

私は、毎日、宮池小のホームページを開くことを楽しみにしています。画面を通して、子どもたちの学校生活の様子や日々の教育活動の一端を知ることができます。これまでのアクセス数は1,159,000件にもなります。校長先生のお話では、多い日は1,000件近いこともあるそうです。

学校は、家庭と地域との連携・協働を大切にして「地域とともにある学校づくり」を進めています。その第一歩が「開かれた学校づくり」です。ホームページをご覧になって、学校の様子を知っていただき、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

お願いとお知らせ

以前にもお願いさせていただきましたが、子どもたちと楽しくふれあう**宮池小応援団**の仲間になってください。無理のない範囲で、ご都合がよいときに子どもたちの応援をしていただければ幸いです。よろしくお願ひします。

当面の活動は、8月21日(水)午前8時30分から10時30分まで、宮池小学校校庭の除草作業をします。

お問い合わせは、宮池小学校（TEL 0569-22-8777、FAX 0569-24-9506）です。